

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（個人））

鳥獣の捕獲から処理加工、販売に至る一連の工程において、長年指導に従事するほか、県全体の処理・加工施設の体制強化に貢献。

やまもと のりあき
山本 倫明

主な取組

福岡県みやこ町

氏は、22年から福岡県みやこ町有害鳥獣加工施設の運営責任者として、衛生的かつ高品質なジビエを供給するため、捕獲個体は止め刺し・放血後1時間以内に搬入するなどのルールを定めた「搬入マニュアル」を作成し、狩猟者に対し周知を徹底。

捕獲した個体ごとに、捕獲者、捕獲場所、捕獲日、獣種、捕獲方法などをデータ化してジビエ製品を管理。加工施設の衛生管理は、安全衛生講習会・技術講習会等に積極的に参加し、より衛生的な処理加工技術の向上に努め、安全で良質なジビエの提供に貢献。

これらの取組が評価され、25年3～4月、大手コンビニチェーンにおいて、みやこ町のイノシシを使ったおにぎり等が販売され、28年度から大手量販店との取引が拡大し、県内消費者へ手軽にジビエが購入できる機会を提供。

氏は、現在、ふくおかジビエ流通促進協議会の会長として、県内の処理加工施設の技術向上、供給体制の強化、ジビエの利活用及び消費拡大など県内ジビエの利用拡大に尽力。